

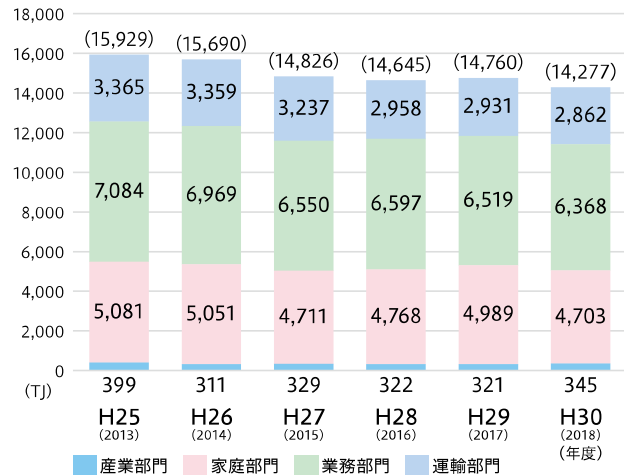
資料編

1. エネルギー消費量の動向

1) 豊島区の現状

平成30(2018)年度のエネルギー消費量は前年度比3.3%減の14,277TJ^{※32}でした。平成29(2017)年度は前の年度に比べ少し増加しましたが、近年は減少傾向が続いています。省エネ行動の定着、省エネ機器等の普及などによるものと考えられます。

会社や学校、商業施設などの「業務部門」と「家庭部門」が3/4以上を占めています。

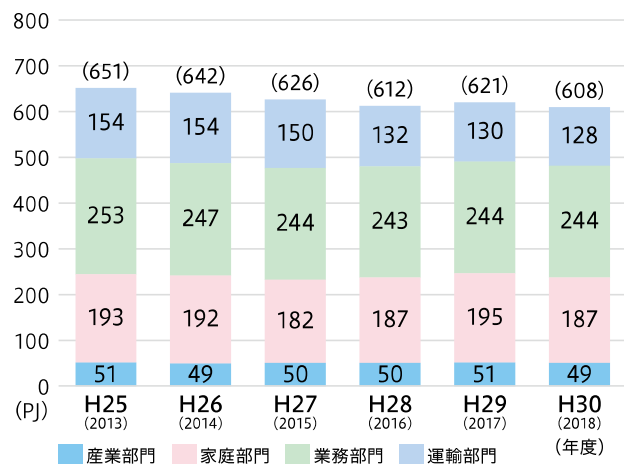


出典：オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」特別区の温室効果ガス排出量を元に作成

2) 東京都の現状

平成30(2018)年度の東京都のエネルギー消費量は608PJ^{※33}でした。区と同様に平成29(2017)年度は平成28(2016)年度に比べ少し増加していますが、近年は減少傾向が続いています。

東京都も、企業や事業所など「業務部門」でのエネルギー消費量が1番多くなっています。

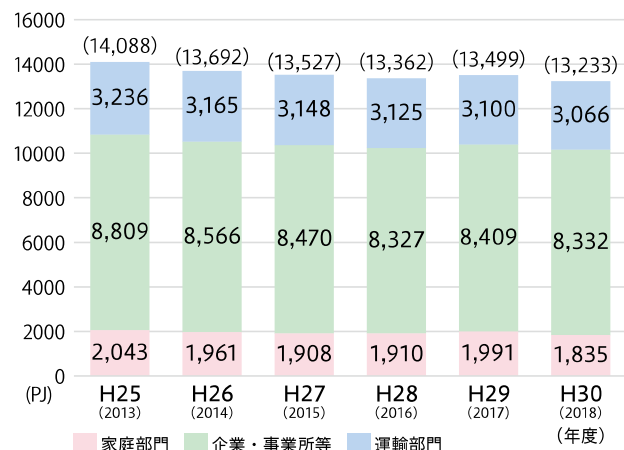


出典：東京都環境局「都における最終エネルギー消費量及び温室効果ガス排出量総合調査」を元に作成

3) 国の現状

平成30(2018)年度の国全体のエネルギー消費量は13,233PJでした。区や東京都と同様に平成29(2017)年度は平成28(2016)年度に比べ少し増加していますが、近年は減少傾向が続いています。

国全体も、企業や事業所などでのエネルギー消費量が1番多くなっています。



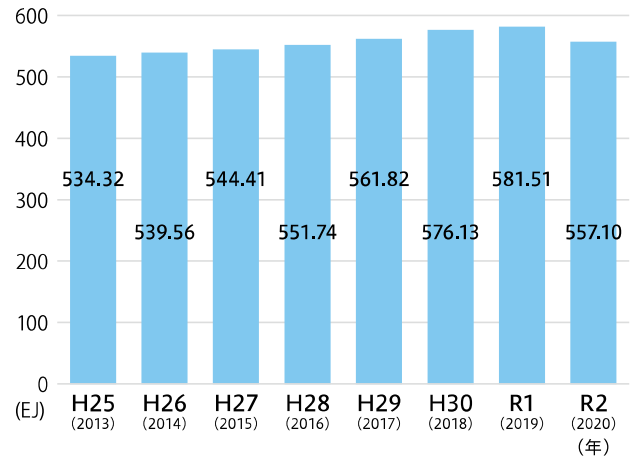
出典：資源エネルギー庁「総合エネルギー統計」を元に作成

※32 TJ (テラジュール)：エネルギーや電力量の単位であるジュールの10¹²倍。
 ※33 PJ (ペタジュール)：エネルギーや電力量の単位であるジュールの10¹⁵倍。

4) 世界の現状

令和2（2020）年の世界全体のエネルギー消費量は557.10EJ^{※34}でした。

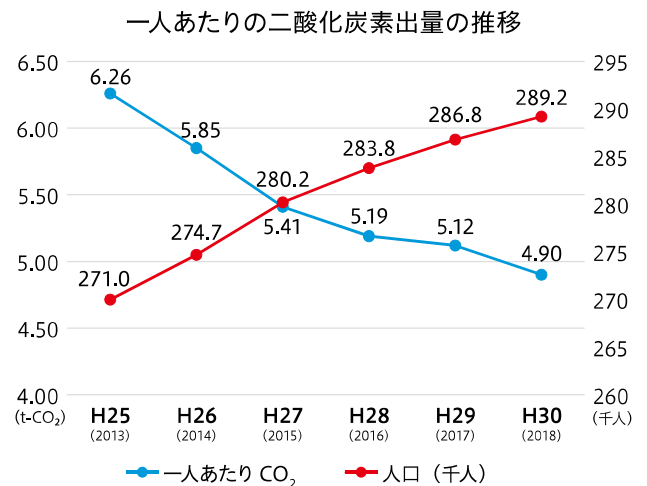
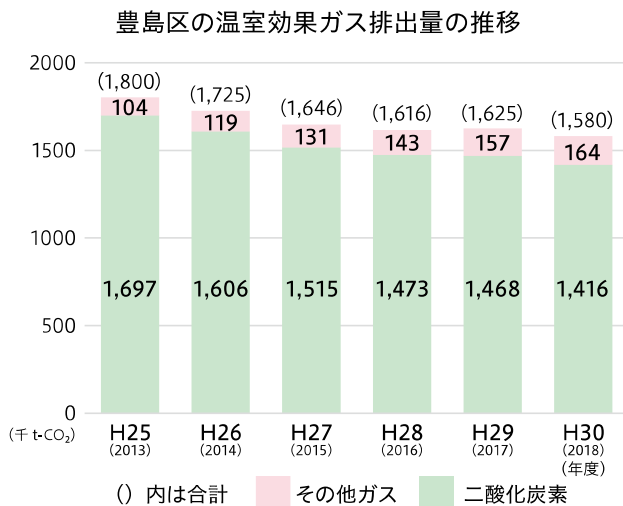
令和元（2019）年までは上昇傾向にありましたが、令和2（2020）年は新型コロナウイルス感染症の影響により減少しました。



出典：BP「Statistical Review of World Energy 2021」を元に作成

2. 温室効果ガス排出量の動向

1) 豊島区の現状



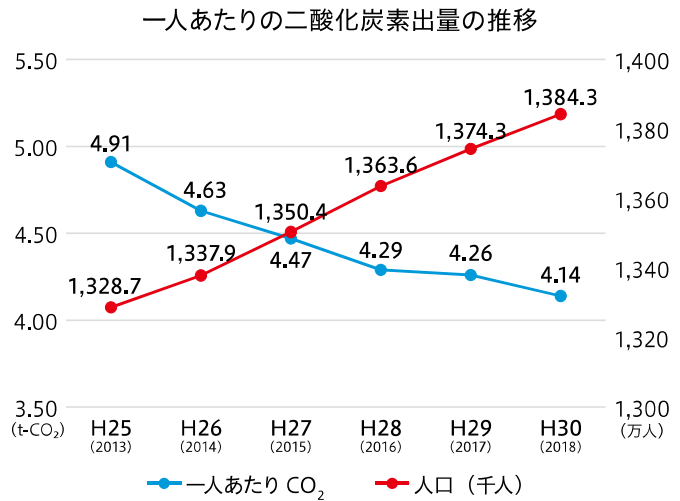
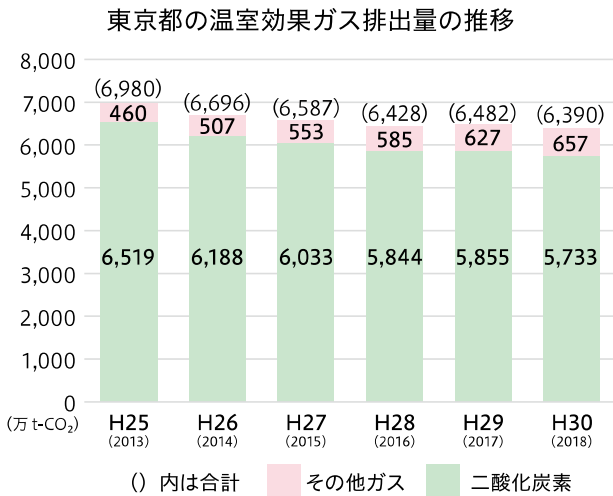
出典：オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」「特別区の温室効果ガス排出量」及び住民基本台帳による人口数を元に作成 ※一人あたりの温室効果ガス排出量は【CO₂排出量／10月1日時点の人口】で計算

平成30（2018）年度の温室効果ガス排出量は前年度比2.8%減の158万トンでした。このうち、約9割を占めるのが二酸化炭素です。エネルギー消費量と同様に、平成29（2017）年度は平成28（2016）年度に比べ少し増加しましたが、近年は減少傾向が続いています。エネルギー消費量や電気1kWhあたりの二酸化炭素排出量の減少等によるものと考えられます。

平成30（2018）年度の一人あたりの二酸化炭素排出量は4.9トンでした。二酸化炭素排出量が減っていること、人口が増えていることにより、一人あたりの排出量も年々減少しています。

※34 EJ（エクサジュール）：エネルギーや電力量の単位であるジュールの10¹⁸倍。

2) 東京都の現状

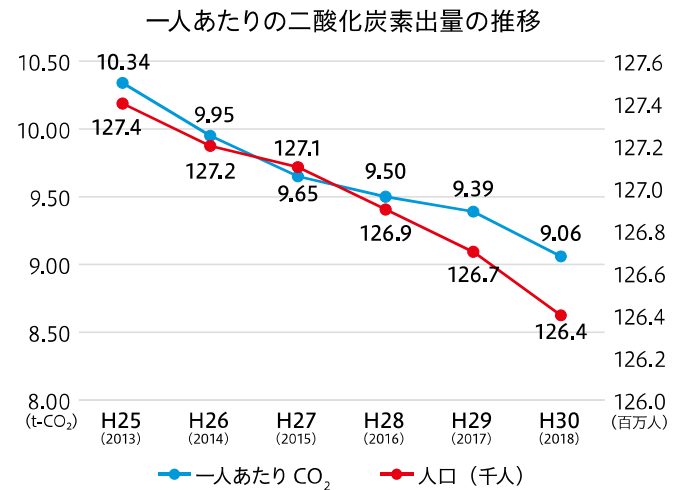
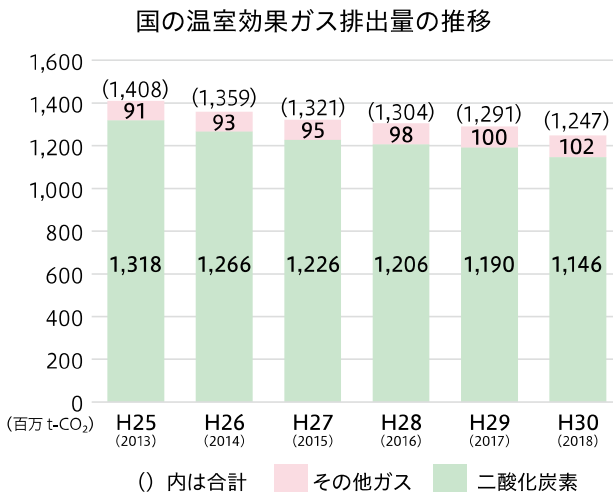


出典：東京都環境局「都における最終エネルギー消費量及び温室効果ガス排出量総合調査（2018（平成30）年度実績）」及び東京都総務局「東京都統計年鑑」を元に作成 ※一人あたりの温室効果ガス排出量は【CO₂排出量／10月1日時点の推計人口】で計算

平成30（2018）年度の東京都の温室効果ガス排出量は6,390万トンでした。区と同様に、東京都も約9割を占めるのが二酸化炭素です。近年は減少傾向が続いています。

平成30（2018）年度の東京都の一人あたりの二酸化炭素排出量は4.14トンでした。区と同様に、東京都でも年々減少しています。

3) 国の現状



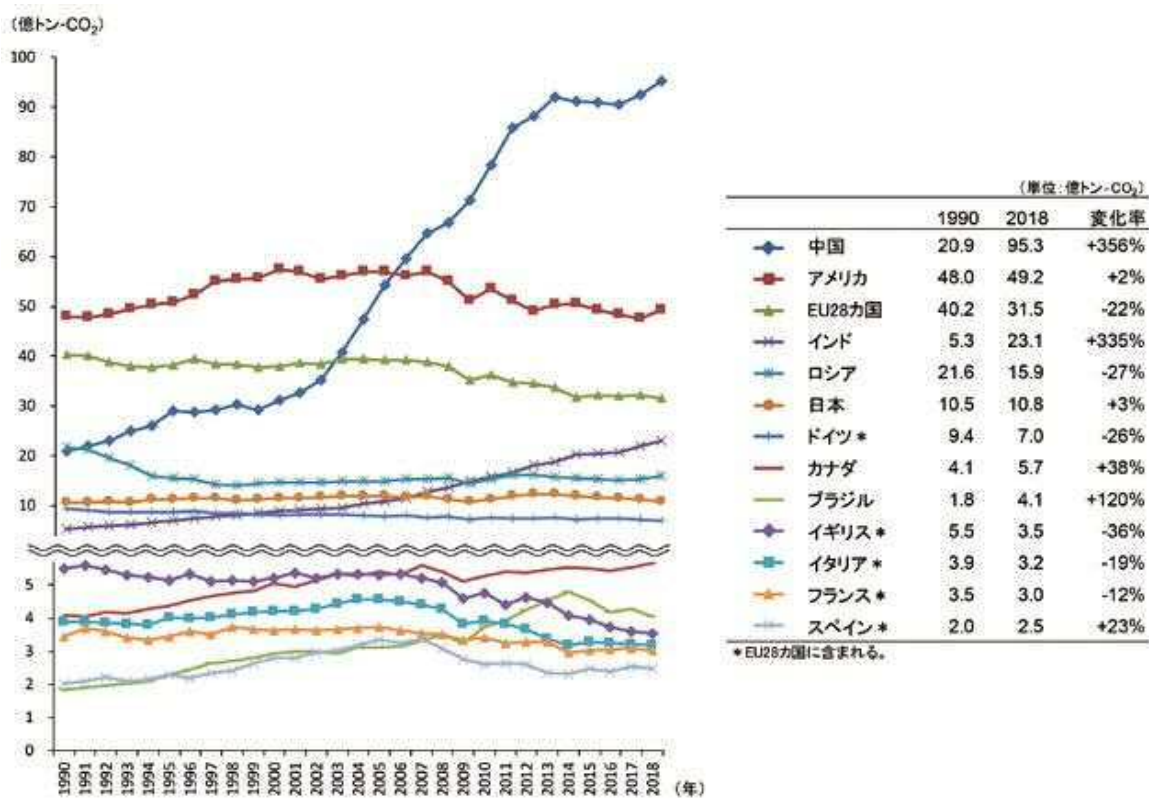
出典：国立研究開発法人 国立環境研究所「温室効果ガスインベントリオフィス」「日本の温室効果ガス排出量データ」及び総務省統計局「人口推計」を元に作成 ※一人あたりの温室効果ガス排出量は【CO₂排出量／10月1日時点の推計人口】で計算

平成30（2018）年度の国全体の温室効果ガス排出量は12億4,700万トンでした。区と同様に、国も約9割を占めるのが二酸化炭素です。近年は減少傾向が続いています。

平成30（2018）年度の国全体での一人あたりの二酸化炭素排出量は9.06トンでした。区と同様に、国でも年々減少しています。

4) 世界の現状 (二酸化炭素排出量)

主な国別エネルギー起源CO₂排出量の推移



出典：環境省「世界のエネルギー起源CO₂排出量 2018年」

平成30(2018)年度の世界全体の二酸化炭素排出量は335億トンでした。

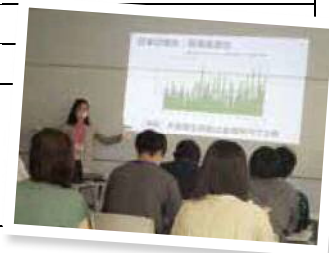
日本は、中国、アメリカ、インド、ロシアに次いで世界で5番目に排出量の多い国です。

3. 大正大学学生ワークショップの実施結果について

1) 開催概要

2050年ゼロカーボン達成に向け、将来を担う若年層の意見を把握するとともに、若者自身が実践すべき行動について検討し、その結果を区の環境施策に反映することを目的として開催しました。

項目	内容
実施日	令和3(2021)年7月30日(金) 13:00～17:40
参加者	大正大学 社会共生物学部学生 24名
テーマ	「気候変動、地球温暖化防止のために、わたしたちができること」
内容	前半：講義 ①「気候変動について考える」一般財団法人 日本気象協会 古賀様 ②「ゼロカーボンシティの実現に向けて」豊島区 環境政策課 職員 後半：グループワーク



2) グループワークの結果

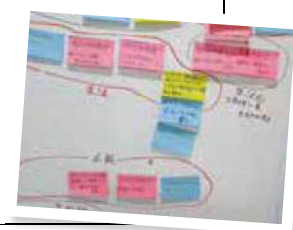
テーマ① 2050年ゼロカーボン達成時のまちのイメージ (意見抜粋)

- 広い場所や見通しがよいところに風力発電機が設置され、自然風やビル風を有効活用
- 電気自動車が主流になっている!
- 建物の屋上には、ソーラーパネルが設置され、電力の自給自足が進んでいる
- 環境教育が充実している
- 屋上緑化、街路樹、公園など、まちが緑であふれている
- 分別を意識し、物を大事にする人が増えている
- 環境に配慮した企業を優遇、誘致し「環境のまち・豊島区」となっている




テーマ② 若者がゼロカーボンに取り組むとしたら、どんなことを重点的に行うか (意見抜粋)

- 興味を持ってもらうためのインセンティブ → 電気代が昨年より低かったら景品をあげるなど
- 排気ガス削減 → 公共交通機関の利用促進、自転車走行レーンの拡大
- テレワークの推奨により通勤時のCO₂排出量削減
- 緑化 → 節電だけでなく、緑化を用いてブランディングすることで観光資源としても利用
- 食品ロス対策 → 廃棄のコスト、過剰発注によるコスト削減にもつながる
- ごみを減らす → フリマアプリ、リサイクルショップの活用等
- 親しみやすい情報 → 環境について喋るゆるキャラ、アニメや漫画とのコラボ



3) まとめ

「ゼロカーボン」というと、どうしても省エネに視点がいくことが多いですが、リサイクルやごみを減らすといった発想が出たことは、若者ならではの柔軟な視点でした。ワークショップで出た意見について、本戦略に反映した部分には、 **若者の提言マーク** をつけてわかりやすく表示しました。

4. 区民アンケートの実施結果について

区民が気候変動の影響をどのように捉え、今後区にどのような対策を取ってほしいかの意向を把握するとともに、家庭における省エネの取組状況について把握することを目的に、インターネットアンケートを実施しました。

1) アンケートの実施概要

調査名	令和3年度 気候変動に係るインターネットアンケート調査
調査期間	令和3(2021)年10月8日～10月13日
調査方法	インターネット調査
調査対象	豊島区在住のインターネットアンケートモニター
回答者数	546名

2) 回答者の属性

① 性別

男性	259名	47.4%
女性	287名	52.6%
合計	546名	100%

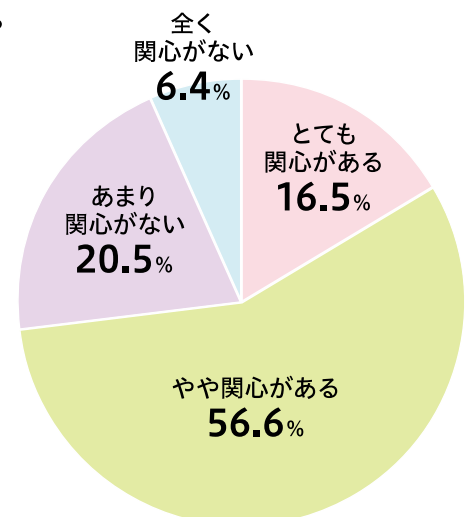
② 年代

15～29歳	121名	22.2%
30～39歳	106名	19.4%
40～49歳	106名	19.4%
50～59歳	107名	19.6%
60歳以上	106名	19.4%
合計	546名	100%

3) アンケートの実施結果 (一部抜粋)

Q あなたは、地球温暖化問題について関心がありますか。

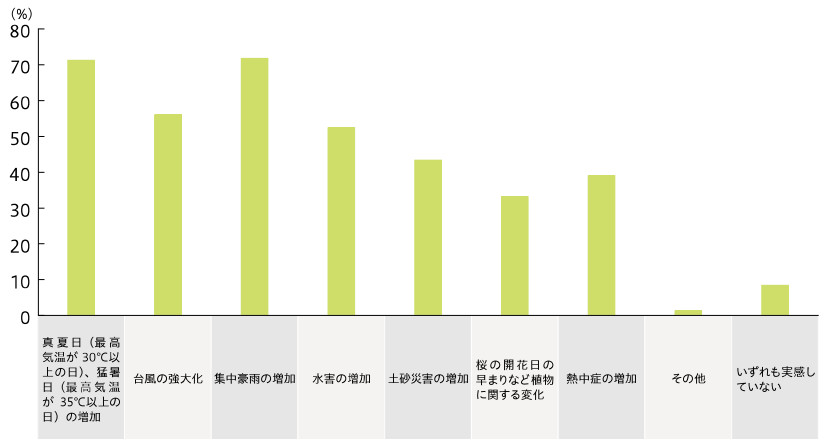
「とても関心がある」、「やや関心がある」と回答した方は、合わせて73.1%でした。多くの方が地球温暖化問題についての関心を持っていることがわかりました。





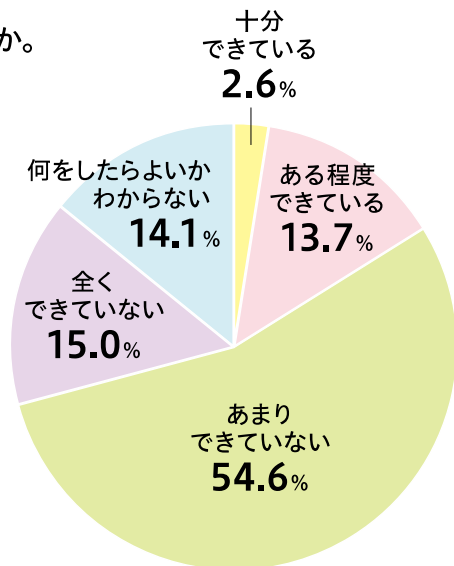
あなたは、以下のような地球温暖化に伴う気候変動の影響をここ3年で実感していますか。(複数選択可)

気候変動の影響の実感は、「集中豪雨の増加」が71.8%、「真夏日、猛暑日の増加」が71.2%と高い結果となりました。



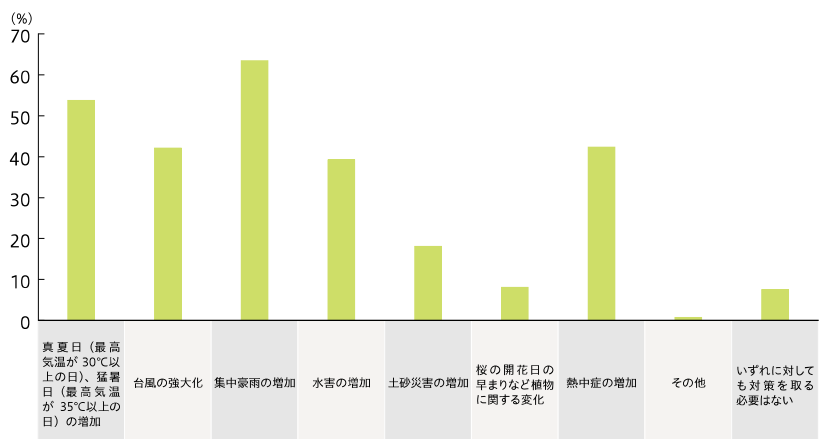
あなたは気候変動の影響に対する備えができていますか。

「あまりできていない」、「全くできていない」、「何をしたらよいかわからない」と回答した方は合計で83.7%でした。気候変動に対する備えは、できていない方が多いことがわかりました。



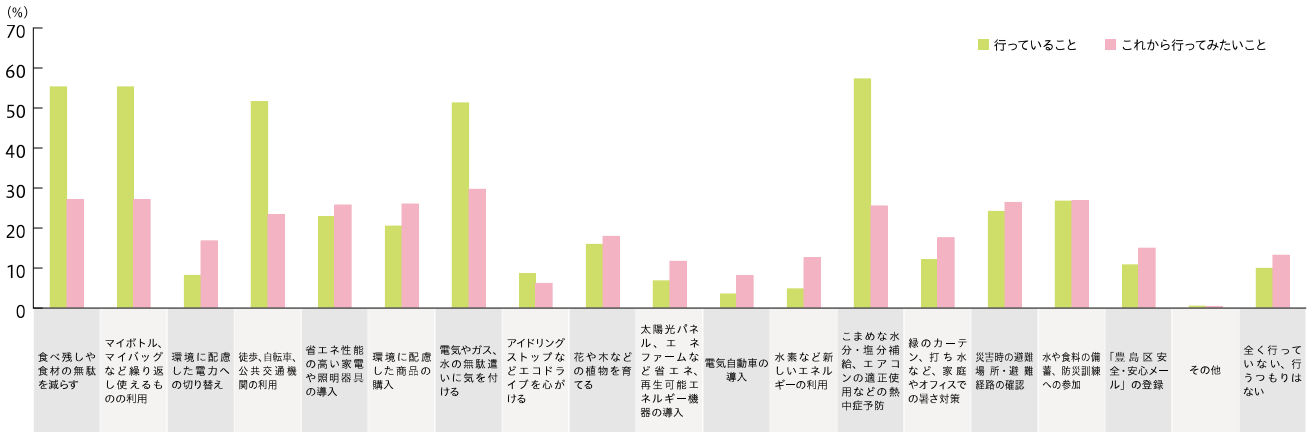
下記のような気候変動の影響のうち、今後豊島区は、どの影響に対して対策を取っていくべきだと思いますか。(複数選択可)。

豊島区が今後取るべき対策は、「集中豪雨の増加」と回答した方が63.4%で一番多く、次いで「真夏日、猛暑日の増加」が53.7%という結果となりました。





地球温暖化の防止や気候変動対策のために、あなたが行っていること、
未来に向けてこれから行ってみたいことはありますか。(複数選択可)



「熱中症予防」、「食べ残しや食材の無駄を減らす」、「マイボトル・マイバッグなどの利用」については、半数以上の方が行っていることがわかりました。未来に向けてこれから行ってみたいことは、「電気やガス、水の無駄遣いに気をつける」が29.7%で一番多い結果となりました。

4) アンケートの総評

アンケートの結果、区民が気候変動について関心があり、その影響について実感していることがわかりました。しかし、気候変動の備えに関しては、何をしたら良いのかがわからないと感じている方が多いことがわかりました。

本戦略では、区民が気候変動の影響にどのように対策したら良いのかについて、第5章で温室効果ガスの排出を抑制する取組＝「緩和策」、第6章で影響に対処する取組＝「適応策」としてまとめました。

さらに、区が対策を取るべき影響については、集中豪雨や台風、暑熱や熱中症に関することが多いことから、第6章の「適応策」ではその対策について記載しました。

日常における地球温暖化の防止や気候変動対策として、熱中症予防や食品ロス削減、マイボトル・マイバッグの利用の取組については、半数以上の方に浸透していることがわかりました。こうした取組をさらに多くの方に普及促進していくとともに、環境に配慮した電力への切り替えや、再生可能エネルギー機器の導入など、あと一歩踏み込んだ取組を推進していくことが必要であることがわかりました。

2050としまゼロカーボン戦略 表紙のご紹介

表紙のイラストは、豊島区で実施している「環境とリサイクルに関するポスターコンクール」の入賞作品の中から、ゼロカーボンに関連する作品を掲載しています。

令和3年度入賞作品



池袋第三小学校
神谷 優里 さん



豊島岡女子学園中学校
地口 夕渚 さん



池袋第三小学校
常石 悠粋 さん



高松小学校
内田 莉野 さん



池袋中学校
越後谷 太耀 さん



令和2年度入賞作品



池袋本町小学校
北原 梨聖 さん



要小学校
佐久川 政海 さん



池袋本町小学校
江口 怜花 さん



要小学校
黒田 優花 さん

豊島区では、未来のことを考える人材の育成及び意識啓発を図るため、区内在住・在学の小中学生を対象に環境保全・環境美化・クールチョイス・3R・エコライフ等に関するポスターコンクールを実施しています。

本戦略の冊子を作成するにあたって カーボン・オフセットを実施しています。

カーボン・オフセットとは

日常生活や生産行動のなかでどうしても削減できないCO₂排出量を、他の場所の排出削減(吸収)量でオフセット(埋め合わせ)することを言います。

本戦略の冊子500部を
作成するための
CO₂排出量

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| ① 用紙、インキなど原材料の調達・製造のために | 約460kg-CO ₂ |
| ② 印刷、製本加工のために | 約308kg-CO ₂ |
| ③ 冊子の配送や使用後の廃棄、リサイクルのために | 約9kg-CO ₂ |

合計 **777kg-CO₂** (1部あたり:約1,554g-CO₂)

CO₂排出権

日本政府が認証した「被災地域における省エネルギー事業」から創出された排出権を使用

777kg-CO₂
||
0kg-CO₂

オフセット
後の排出量

※CO₂排出量の算出については、日本WPAが運用する「PGG-CLOUD」を使用しています。



2050としまゼロカーボン戦略

令和4（2022）年7月発行

編集・発行 豊島区環境清掃部環境政策課

〒171-8422 豊島区南池袋2-45-1 TEL. 03-3981-1597（直通）

[豊島区ホームページ] <http://www.city.toshima.lg.jp/>



この印刷物は環境に配慮し、FSC® 認証材及び管理材料からつくられています。
印刷に植物油インキを使用し、廃液の排出を少なくした水なし印刷方式を採用しています。